

特集

ウエストコーストツアー

～九州の西海岸・肥薩おれんじ鉄道の旅～



九州の西海岸(ウエストコースト)を走る肥薩おれんじ鉄道。

鹿児島県の薩摩川内市から熊本県の八代市を28の駅で結ぶ、全長116.9キロメートルの鉄道です。

「おれんじ」は、沿線が柑橘類の産地であることから名付けられました。

豊かな自然と武家屋敷など歴史のある沿線の街に立ち寄りながらの旅はいかがでしょうか。



肥薩おれんじ鉄道のアテンダント「おれんじレディ」の(左から)久保美穂さん、赤星麻紀さん、神川美由紀さん。アテンダント(接客乗務員)として、土・日・祝日運行の「スーパーおれんじ(八代～出水間)」 「オーシャンライナーさつま(出水～川内間)」に勤務し観光情報提供などを行っています。

夕日を眺めながら、仲間とビールで乾杯。そんな、ぜいたくな旅をしてみたいと思いませんか。肥薩おれんじ鉄道で、恒例となっている夏の「納涼ビール列車」。毎年、楽しみにしているリピーターも多いとか。

貸し切りにすれば、ダイヤや出発駅についても希望に応じて設定してくれる。往復、約2時間の列車での暑気払い。まだ体験したことがない方、今年、オレンジ色の夕日を見ながらビールで乾杯！

ほかに、新春参拝列車など季節に合わせたイベント列車や貸切列車も運行中。イベント時に登場する車両は2種類。オレンジのイラストの「おれんじちゃん」と、今年の7月7日から2年間、「銀河鉄道999」のイラストでラッピングした特別車両が登場します。

沿線の観光スポットめぐりや、おいしい食べ物を探しての自由気ままな旅には、1日に何度でも乗り降りできて、どこまで乗っても定額な1日フリー乗車券がおすすりめです。

このほか、片道はJR九州(新幹線・特急自由席)、片道は肥薩おれんじ鉄道を利用するお得な「つばめ・おれんじ」ぐるりんきっぷも人気。肥薩おれんじ鉄道区間は乗降自由となっており、各駅停車ののんびりとした旅にはもってこいの乗車券です。

“1日フリー乗車券”

- 設定区間 八代駅～川内駅乗り降り自由
- 発売額 大人2,800円、小児1,400円
- 有効期間 利用日当日限り

“「つばめ・おれんじ」ぐるりんきっぷ”

- 有効期間: 2日間
- エリア・料金
- (1)鹿児島エリア版 ————— 4,000円
- (2)熊本エリア版 ————— 4,000円
- (3)熊本・鹿児島エリア版 — 7,000円
- (4)熊本発ロング版 ————— 6,500円
- (5)鹿児島発ロング版 ——— 6,500円

※各エリアなど、詳しくは、下記までお問い合わせください。

肥薩おれんじ鉄道マスコット「おれんじーず」



左から、きんかん、温州みかん、不知火(デコポン)、甘夏みかん、ブンタン(ボンタン)、晩白柚(ばんべいゆ)をモチーフにした肥薩おれんじ鉄道のマスコットたち。

【お問い合わせ先】 肥薩おれんじ鉄道株式会社 ☎0965-32-5678 <http://hs-orange.com/>



©K.P.V.B

薩摩川内市

平成16年に1市4町4村が合併し誕生した「薩摩川内市」。自然豊かな土地であり、平成8年にベッコウトンボの生息地保護区に指定された蘭牟田池をはじめとするみどり豊かな山々や湖。地形の変化が美しい甌島など多種多様な自然環境を有して

おり、大自然の恵みである海の幸、山の幸も豊富にそろっている。また、全国的にも有名な夏の川内川花火大会、古い歴史を持つ川内大綱引など、多くの行事のほか、市内には、数多くの温泉が湧き出ている。

●蘭牟田池

平成17年11月に、生態系の保全のための重要な湿地を保全する「ラムサール条約」に登録された。たくさんの野生生物が生息しており、湖畔の景色は季節の移り変わりを感ぜさせてくれる。

☎0996-55-1111

(薩摩川内市祁答院支所産業建設課)



©K.P.V.B

●川内高城温泉

西郷隆盛も愛した高城温泉。西方駅からバスで15分、山間にあり、素朴な温泉宿と昔懐かしい土産物屋が軒を並べ、昔ながらの温泉情緒に引かれて訪れるリピーターも多い。

☎0996-23-5111 (薩摩川内市観光課)



●ボンネットバス

今年の3月に、コミュニティバスの利用促進や市外からの観光客の誘致を図るため導入され、川内駅を中心に市内を循環している。外観だけでなく車内も、木目調の素材を使用するなどレトロなデザイン。

☎0996-23-5111

(薩摩川内市商工振興課)



●川内大綱引

毎年9月22日の夜に行われる伝統行事。長さ365m、重さ5tの大綱を3,500人の若者が引き合う様子は、迫力満点。

☎0996-21-1851 (川内大綱引保存会)



薩摩川内市観光アドバイザー 橋之口 栄二さん
観光ガイドブック「薩摩川内えびそード100」が今年5月に発売された。「満足できる1冊になりました」と話す橋之口さん。

薩摩川内市の魅力を探ねると、「豊かな自然です」と答えてくれた。「農家への宿泊など、自然を生かした体験メニューを多数取り入れたグリーンツーリズムを推進していて、2年前から修学旅行生の受け入れも始まっています。自然が豊かな薩摩川内ならではの観光資源を生かした旅行プランを、どんどんアピールしていきたいです。」九州新幹線の全線開業を3月に控え、これからますますにぎやかになる川内駅。川内駅は、肥薩おれんじ鉄道とJRが乗り入れる駅。それぞれの魅力を生かした観光プランも提案していこうと思っています。駅に降りて市内を観光できるようレンタサイクルもあります」と話してくれた。

【問い合わせ先】 薩摩川内市観光協会 ☎0996-25-4700

平成20年7月から3年間の期限で薩摩川内市の観光アドバイザーを務めている橋之口さん。大手旅行会社勤務時の平成8年から2年間、鹿児島支店に勤務した経験を持つ。当時、薩摩川内市には仕事でたびたび訪れており、そういった意味からも薩摩川内市には縁があるという。

